

第四部



安政五年歲

御仕置五人組帳并約定

十月廿二日再写

沢畑



## 差上申五人組帳之事

一、毎歲被仰出候五人組之儀宣鋪組交村中大小之百姓前地下人等迄明細に吟味い多し怪敷もの  
差置不申様被仰渡奉畏候若隱置後日に相聞候得者当人者不及申名主五人組迄如何様之曲事  
に茂可被仰付候事

一、前々より被仰出候切支丹宗門之儀村中大小之百姓者不及申召仕男女門屋鋪備屋外出家社人  
行人山伏虚無僧鉦打機多乞食非人等に至迄穿鑿仕候得共右御法度之宗門無御座候若怪敷宗  
門有之候得者縦令親類縁者好身之もの多しといふとも見聞候得者無隱早速御註進可申上候  
若隱置賜より訴人於有者当人者不及申名主五人組迄如何様之曲事に茂可被仰付候事

附他所より越来もの亦者下人等に召抱候に茂宗門相改寺請状入念伐取置可申事

一、人を殺候歟亦者盜賊有之由何方よりも断有之もの村方にて搦捕差出可申候若其村中之力に  
不罷成候は、早速御註進可申上候事

一、惣て行衛不知浪人もの差置候儀者不及申、一夜之宿をも貸申向鋪候縦令親類縁者たりレも  
怪敷儀有之おゐては不隱置早速可申上候、併慥成ものにて親類縁者請人に立手形出おゐて  
は得御下知を差置可申候事

附他所より引越候もの有之者其もの之出生江改いたし無攝候は、請人并宗門手形取其上  
得御下知差置可申事

一、何ものにも不依人を殺候歟堂宮山村にか、まり不審成もの有之者所之もの隣郷にも出合搦捕

置御註進可申上候若其場にて取辻候得者何方迄も跡を志多い落着所江折置可申候事

一、博奕者不及申惣て賭之諸勝負一切仕向鋪候事

一、人賣買仕候儀者弥令禁止召抱候男女或者歳季或者譜代に召抱候儀者相对次次に仕譜代下人にて茂他所江罷越身上有附候もの呼返申向鋪旨被仰渡奉畏候事

一、田畑永代賣并未納之儀者兼而御制禁に候質地歳季之儀者拾ヶ歳を可限勿論名主組頭之加判證文を以取引可致候置名主に而候得者相名主歟又者組頭年寄加判可致加判無之證文を以出入申出候方者御取上無之由被仰渡奉畏候事

一、百姓衣類之儀者布木綿麻之外堅差用申向鋪候惣而染模様不目之様にい多し紫紅染用申向鋪候事

附名主百姓共、御用に而罷越候節者脇差帶候儀可為無用勿論束物勒置馬に束候儀停止候事

一、惣而奢ヶ向鋪儀不仕婚禮祭礼佛事等に至迄不應分限結構仕向鋪候事

一、差当入用に茂無之山林を伐出し交易致候儀堅可為無用事

一、食事者勿論其外諸色油澤に候共猥に遣ひ捨不申様洒菓子之類むざと多作出候はぬよふに可相心得事

一、当村賣買之諸色別而不足成旨申ものも無之所此上数多作出候而茂人々分限を越而物を遣い候得者事多可申畢竟國之衰と成無益之事に而米穀并藥種之外者金銀衣服諸道具等に至迄新規の品者勿論有未候ものに而茂相増仕候儀猥に申付向鋪候事

一、有来候遊所見せ物并賣買に而人多集候儀者其所之振を申立るといふとも猥に申付向鋪候事

一、無故して商物俄に高直に賣出過分之利徳を貪候而之儀に候条遂吟味為致申向鋪候事

附商物卷ヶ所に詰込下直に可賣出杯といふとも是又取上申向鋪候事

一、國々所々より出候諸色運送不自由に候歟又者途中之計に而損失無之様心を附可申候事

一、耕作等隨分入念御年貢御割付通急度皆済可仕候其外納方之儀米永共御纏日限に少茂違背仕向鋪候事

一、御年貢引員欠落可仕躰に相見得候百姓有之由は、五人組中詮儀仕名主江相談仕捕置可申候  
油断い多レ欠落為致候て其もの之御年貢其五人組并納仕其上彼之もの尋出可申事

但無紛身上不罷成御年貢皆済成兼候百姓有之候て其五人組并惣百姓仲間に而取替被仰付日限之通皆済可仕候事

一、御公儀様御用之儀何方より申来候共遅滞仕向鋪候御廻状參候は、是又遅々仕向鋪候  
若御配府相滞日限時附相延候は、如何様之越度にも可被仰付事

一、道橋損往末差支不申様無断共常々繕修可申候事

一、企悪心結徒黨誓約をい多し候儀御制禁に候固堅相家業一にい多し縦令郷中一同之相談に  
而茂不宜儀に候は、相加申向鋪更

附喧叱口論公事を好常々人柄不宜もの有之候は、可申出事

一、御手代衆江何成共進物堅仕向鋪候事

一、御公儀を重御年貢收納之儀も出情其上親孝行に而万端臆成もの有之は可申出候品に寄御  
褒賞可被下旨奉畏候事

一、盗人為用心村毎に番屋を作夜番可仕候

郷中之儀者不及申隣郷に而茂盗人見出音を立るにおゐて者早々出合捕候様常々百姓申合油断仕向鋪候事

附往還羌道筋者格別其外在々所々に而行衛不知もの山伏行人虚無僧鉦打撥多乞食非人又者盗人之宿区仕候もの有之者早速申上常々吟味可仕奉畏候

一、喧嘩口論出来候は、所之もの出合差並好明可申候若内々に而不相濟儀者双方申分承之勿論手負之もの候得者相手共押置早速御註進可申上事

一、堤川除井堰道橋兼御普請被仰付候節者随分精出正路に可相勤候若人足に出兼候百姓候得者可申上候事

一、御鷹場者不及申御鷹場之外に而茂役永出候もの之外無益之鳥殺生羌川溪堅く仕向鋪旨被仰付奉畏候村中大小之百姓水吞下人寺社等に至迫此旨急度相守可申候若相替もの有之者早々可申上候如何様之御仕置に茂可被 仰付候事

附脇々より其所江罷越鳥殺生仕候もの有之者押置早速御註進可申上旨奉畏候

一、老馬病馬又者片輪馬に而用立不申候とて捨馬堅仕向鋪候百姓身上不罷成手前に差置候儀難相成候は、名主組頭吟味之上村中又者其五人組に而介抱仕置病馬は馬醫に掛養生可仕候事 附何方よりも放馬参り候は、近所村々江引取介抱い多し馬主詮儀い多し得御下知證文取之可相渡事

一、堤并掛堀落堀又者道を狭め田畑仕出し耕作仕付申向鋪候事

一、如何様成小百姓に而茂名主組頭私として所を追出申向鋪候事

一、前々より有来候百姓を潰し田畑持添に仕候儀は不及申縦令死失にて跡式潰れ百姓に田畑候



共持添不仕得御下知可申上候事

一、本田畑之儀者不及申或者荒廢地或者田畑又者切添之田畑并畑成田等有之候は、卷々所成レモ無隱申上候而御年貢上納可仕候如何様之悪所成レモ荒申向鋪事

附荒向并古荒向新田畑等におこし可仕処御座候は、得御下知内発可申候事

一、郷中火事出来候は、御藏江着御藏田い可申候勿論御藏無氣遣火事に候は、火元参消可申候火消道具拵置可申事

一、御林竹木伐出候儀者不及申下草成レモ一切刈取申向鋪候尤風折根返等有之節者早速御註進可申上事

附百姓四壁之竹木成レモ猥に伐採申向鋪事

御手代衆依怙鼻肩無之惣而御下知に至候迄非分成儀御座候て無隱可申上候事

附不断儀は不及申御用有之郷中江御藏被成儀節は薪野菜之外何に而茂馳走ケ向鋪儀仕

向鋪候勿論振舞苴作仕向鋪事

一、不依何事御用人馬被仰觸い通急度相勤可申い勿論無高下人馬差出可申い尤郷中勤方印形取置可申上事

一、御年貢御割附被下儀節惣百姓并出作之もの迄立會拜見之上無高下改割賦其趣大小之百姓連判書付差出可申上事

一、歳々村入用帳差出於御役所吟味を請無甲乙割合此外諸掛無之段大小之百姓帳面印形い多し可差出事

一、御検見之節下田を中田と申中田を上田と申其上田地所を引替御目掛申向鋪い若偽申上後日

に相聞いは、名主組頭は不及申村中大小之百姓至迄如何様之曲事にも可被仰付い事

一、御年貢納帳并夫錢帳園目毎名主并百姓印形仕置可申い御年貢米金并夫錢等名主方江渡度々帳面に致勿論請取手形其時々名主方より百姓江可相渡い事

一、御年貢米納之節は御米は不及申升目無不同俵拵之入念可申い御米江戸御米納之節自然俵数不足か又は船中澤手鼠喰并腐米等御座いは、急度并納可仕い事

一、御年貢米郷藏江納い節御手代衆名主百姓立會封印仕置津出之節度々立會御藏出し可仕い勿論御米何方江御渡被成い共請取手形取置勘定可致事

一、惣而夫錢諸掛名主立替い而茂利足を加へ割掛申於も有之由左い得ば百姓迷惑仕い向其時々割合得明可申い事

一、百姓之子幼少に而親に別れ百姓仕い儀不罷成いは、親類并名主五人組相談之上證書い多し田地預置御年貢御役相勤其子成人仕いは、断次才預置物無相違相返百姓為致可申い事

一、名寄帳毎歳仕直い可申い事

一、百姓方に而茂名寄之写仕置御年貢割明細可仕い事

一、御手代衆并百姓地主小作其外親類縁者にても御手貢取引は不及申少、之事にても無手形取引仕向鋪い證書無之事に時過出入等罷出いは、双方御穿鑿之上何分之曲事にも可被仰付い事

一、夫錢其外成いも不審成入用名主方より割掛いは、詮儀仕早速其時々可申上い事

一、御藏番之儀其時々無油断急度相勤可申い事

一、郷藏屋根念を入雨もり不申様にい多し壁垣亦は下敷等迫入念を可申い事

但風雨之節は御藏参り小て破損小所も有之は、御手代衆江申上繕可申小事

一、人馬之儀御公儀様御傳馬御手代衆之外無益之人馬一切出申向鋪小事

一、酒造之儀兼而被 仰付御法度之通急度相守可申小事

附勿論新酒屋は不及申酒造米員数之儀

前書申上小通少成ヒも餘慶に造申向鋪小

一、毎歳鉄炮御改に付此度猶又御吟味被遊被仰渡小趣奉畏小若違背仕悪事仕小得ば当人は不及申名主五人組迄如何様之曲事にも可被仰付小事

一、在々於所々牛馬盗人有之不限晝夜不審成もの馬牽通りに付ては其落着所を相尋有躰に相見得小は、郷次に送り届落着所之名主五人組隨に祈可申小事

附慥成無口入て牛馬売買一切仕向鋪小事

一、盗人贖物郷中之もの見出小敷又は他所之もの見出向出其届有之は名主五人組早く詮儀仕可申小事

附諸道具其外何にても無筋之方預物一切仕向鋪小事

一、勧進能芝居操相撲其外何にても見物類一切留置申向鋪小事

一、惣百姓仲向公事出来不仕様常々吟味い多シ物每正路に 御公儀様御用大切に可仕小

万一他所之ものより出入之儀は不及申に同百姓仲向にても六ヶ敷儀出来仕小は、名主立會詮儀仕明可申小内々にて不相濟儀は名主取次を以可申出小若名主組頭相手にて小は、直に無慮可申出小事

一、御公儀様江差上小證文之儀は不及申々之手形證文にても五人組帳江押小印形可仕小

右之印形自然紛失仕相調替いは、其節名主五人組御断可申上い百姓は名主方江相断可申い事

附何事にても印形仕いには自分の印形 人に誂申向鋪い人之印形を備申向鋪い印形不持

ものは支度可仕い御用に付小百姓にても印形無失念持參可仕い事

一 御公儀様江差上い手形證文之儀は勿論百姓仲間にて取引仕い手形證文亦は印形仕い儀文言吟味之上可仕い左も無之いて後日に入に被成詮儀之節文言は不存い得共印形仕い杯い申向鋪い事

一 川通堤之儀永雨降水出いは、無油断郷中言人も不残罷出堤切不申様觸之所江土俵をい多し置其村々は不及申隣郷村々迄致相談堤丈夫に致置可申事

一 川通村々自然破舟等有之いは、早速出合荷物取揚破舟之様子船頭水主加判にて預置其段御註進可申上い惣て流舟之道具見付いは、揚置得御下知い事

一 惣て 御公儀様御法度相背悪事仕いもの有之いは、組中よりの申上い若隠置脇より相聞いは、名主五人組如何様にも可被仰付い事

一 御取箇夫喰御種貸等其外願之筋強訴徒黨逃散之儀は堅御停止にい處願筋にて御代官御陣屋江百姓大勢相集強訴い儀も有之段被及御聞不届至極に付自今以後右躰徒黨ケ向鋪儀并強訴申上いは、御吟味之上重罪科に可被 仰付い小条承知奉畏い事

右者此度被 仰付い五人組御仕置之儀大小之百姓地備店備前池水吞等に至迄致詮儀い所何にても御法度相背いもの無御座い若隠置い哉亦は悪事仕いもの有之いは、名主百姓如何様

之曲幸にも可被 仰付小此書物名主共江写置卷ヶ歳に両度宛讀為兩急度相守可申山 以上

村契約

献立

皿 魚の子  
大古ん  
けん菊

汁 とう婦  
魚の子  
かつ

水皿 こふのもの  
なんばん

壺 かまぼこ  
にんちん  
とう婦

飯

平 さけ  
青葉  
ゆづ

重引 午房  
山しやラ

酒 吉人に付  
式合宛

取肴

大砂鉢 にしん  
大こん  
午房

砂鉢 数の子

砂鉢 田作

重之内 た、き午房  
なんばんあい

砂鉢 青菜  
からしあい

御茶 山本山

御菓子 黒大豆  
砂糖入

膳後当渡

酒 徳人に付  
式合宛

肴 右五種

御茶 山本山

右相談之上定例献立取究申上 以上

儀 定

一 例歳十月廿二日定日に付諸道具前日に持運可申尤運送共々帳面江引合可申小斐

一 諸道具之内紛失之分は備金等に不抱歳番之衆にて買調不足無之可致若又破損之分は堀米

四郎兵衛相調可申小事

一 此度堀米四郎兵衛差出置小村契約備金式拾五両外に去己十月より当年十月迄壹ケ年利金

三兩都合金式拾八兩有之右金之内諸入用引残金錢当渡之節諸帳面江相添可相渡申事  
 一 諸入用之儀金式面高にて以上は不掛様取計可申尤式兩にて餘り錢之分前同断相渡可申事

一 諸入用歳々別諸入用調帳江相記元利金取調過備金錢明白に歳番請渡可申事

一 右備金当時之廻村中評儀之身元之衆江相預け可申尤月に金式拾五兩に付金壹分之利金相加可申且是本證文にて會宿名并村中と認め預人一同連印證文差入可申事

一 右備金四拾兩位都合相成は、御田地質流地引請当番衆にて手作い多し作徳米にて諸入用全備仕い様相成は、村方永久為筋之儀に付一同心掛出精前段之通可致申事

村方にて一同評儀契約之儀有之は、此帳面江相記諸事違乱無之様可致申事

右之通村中一同相談之上取究い以上は急度違交有向鋪い勿論以未取究之事許は追々此帳面江相記可申以上

安政五年歲十月廿二日

連名左之通

- |        |     |    |      |     |     |
|--------|-----|----|------|-----|-----|
| 堀米四郎兵衛 | 直藏  | 利助 | 卯右衛門 | 四郎次 | 重五郎 |
| 仁助     | 金三郎 | 兵吉 | 丈次郎  | 重助  | 五兵衛 |
| 弥之吉    |     |    |      |     |     |

- |     |     |    |     |     |     |     |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 七兵衛 | 吉兵衛 | 卯助 | 傳兵衛 | 権三郎 | 五兵衛 | 長太郎 |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|

右之通に小間相互い不奥無之様相励み睦合可申小 以上

德次	弥兵衛	仁助	三吉	富次	長七
甚作	作助	六助	仁左衛門	右七	留吉
三平	藤藏	傳兵衛	与吉	新藏	金吾
甚入	四兵衛	藤吉	与藏	五吉	甚五郎
	兵次郎	作兵衛	次兵衛	苗藏	市太郎
	新藏	佐平次	清之助		新藏
	甚四郎	万次郎	仁兵衛		伊惣次



## 被仰渡之趣左之通

以賽博奕は勿論都て賭之勝負事を好やかからは其身之勝利を得悦ぶ多る人之難儀は聊も傾着無之是海内輩友ギ一之不実して神佛心之道に背依て一旦は勝事も有之といへども銘々始終は打負候より執心深く差はまり終大切之御年貢上納物も相滞親類組合相談之上田畑家財等原入漸非道之調達を以先上納はい多すといふとも其甚鋪に至小ては身分難立行罷成親兄弟妻子迄も打捨欠落等い多し潰及退轉小もの向々有之右は全愚昧貪欲之心を無宿悪徒共能察し田方取入農向之頃を見込博奕相勸いより右の次才に至り小は誠以歎ケ鋪事に有之依之右鉢賭之勝負は前々より堅御制禁之旨歳々申觸置小事に小各村役人共制方相弛小或近耒根に相成此節長脇差を帯い博徒共多人数入込村々博奕発興之趣相商以之外不届之事共に小右は畢竟村役人共制方不行届故之儀に有之依て此度村之取締として不時出役差出無宿長脇差帯いもの共は勿論博徒共悉召捕小条得其意於村々にも右鉢之もの共見掛小は、何方のものに小共差押当御役所江召連可罷出小若見逢置小もの於有之は後日商といふ共急度可申付小向右之趣心得違無之様急度申渡此廻状村名主令せしめ請印早々順達留村より可相返もの也

申十月入日 御役所

右之趣御嚴重被仰渡小上は急度相守可申小勿論前々より御制禁之趣御觸達之儀に付以末格別に取締村内之もの賭の諸勝負決して不仕村内江有宿無宿に不限風俗よろしからさるもの立入

小は、見当次々申合早々追拂可申小且博奕等有之小は、隣家申合急度相制可申小若聞入不申節は其筋江訴出可申小隠置後日頭小は、何様之儀にても村内評儀次々相成可申小事

一暮六ツ時より順番式人組村内不残見廻り次組江相送り無滞明六ツ時迄見廻り可申事

一半夜におよび廻方滞いは、翌日相糺小上にて番割帳江留置滞小組其夜引通為廻可申事

一見廻中無灯ちんにて村内歩行小もの見咎言葉掛いても返答無之小は、直様打倒捕取村内評儀之上其筋可訴出吏

一万一村内火盜之難出来小砌は村中打寄入札之上疑鋪もの有之小は、村内一統之運名にて其筋江御訴可申上事

一非道之儀有之節は駈付方遅速に從急度相糺可申勿論目立小程仇小もの江は村内身元のもの割合金巻分より手拭位迄夫々働方軽重評儀之上褒賈遣可申事

一村内にて山進退不致分は下草枝葉等に限取入可申立木之分は都て小苗木に至迄決て切取申間鋪右山持主に小共自分用之外多分切出賣拂小儀決て仕間鋪小右は山、繁茂往、村内為筋之儀に付急度相守可申事

一近歲諸色直段引上別而五穀之類高直に付夫喰不足之もの難儀仕小向銘々手厚心掛他より拔買立入小共猥に賣拂不申村内にて相互に賣買い多し御年貢上納之外翌歳作も取入迄夫喰不足不仕様貯置其余之分は格別に小得共銘々厚可心掛事

一近頃寄合又は出所不分明之廻状相廻小哉之風固も有之以外之儀徒黨寄合等之儀は御嚴重御制禁之儀に付決て相加小申間鋪小夜令何様之儀他村又は隣村より申来小共よるレからざる儀には馴合不申村内心を合正路に農業相励み可申小若不時之災難又は病氣等にて困窮差

迫いもの江は身元よろしきものより夫々実意を以世話いたし村内一同睦合相互い助精可仕  
且出入立又は争論等出来いて村内に而実意に取扱早速為相済可成夫公邊之御手数敷に不相成  
小様可仕小幸

右前條之通村内評儀之上儀定取究小上は不可有違背小万一心得違之もの有之小は、隣家又は  
其最寄にて異言差加へ夫にても不取用小は、村内申合其筋江可訴出小依之邑役人立會議定如  
件

萬延元申歲十月廿二日

宿

堀米四郎兵衛○

直藏○

利助○

卯右衛門○

四郎次○

重五郎○

仁助○

金三郎○

兵吉○

六次郎○

留五郎○

重助○

五兵衛○

本家四郎次代印

宿

權	甚	伊	右	市	新	富	留	金	長	長	五	傳	知	吉	七
三	五	惣		太						太	兵	兵		兵	兵
郎	郎	次	七	郎	藏	次	吉	吾	七	郎	衛	衛	助	衛	衛
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

本家七兵衛代印

宿

四 藤 作 三 殊 万 佐 作 藤  
兵 兵 次 平 兵  
衛 藏 助 平 衛 郎 次 衛 吉  
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

仁 仁 清 次 六 与 与 仁  
兵 之 兵 左  
衛 助 助 衛 助 藏 吉 門  
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

明治三十九年契約小野席之助會席に於て改め

兵 次 郎 ○  
新 藏 ○  
甚 作 ○  
甚 四 郎 ○  
德 次 ○

(この外追加として昭和十四  
年迄の加入者等の異動記入  
しあり)

## 明治三十九年契約小野席之助會席に於て改め

一我帝國ハ去ル明治三十七年西洋露國ト國際上ヨリ無止戰爭ヲ開始シ今年ヨリ翌三十八年ニ  
涉リ式ケ年間國民全般ノ子弟出征ニ召集セラレ國一致肉國以來未曾有ノ大奮闘為メニ多大  
ノ戦死員傷者ヲ生シタルモ海ニ陸ニ百戦百勝全世界ヲ驚カシ我強國タル武ヲ発揚シタルハ  
國民全般ノ歡喜ニ堪エサル処ナリ

乍併右ニ付國稅ハ勿論種々ナル新稅加徴セラレ且ツ軍人送迎等ニテ出費多端ノ処昨年ハ近  
來稀ナル凶作加フルニ我國モ事々物々開明進歩ニ連レ衛生上並火災予防農事獎勵等ノ費用  
相嵩ミ為メニ村備金加殖小事ハ勿論年々不足ヲ来シ小様ノ傾ギニ立到リ此分ニテ推行セバ  
將來村内ハ如何ナル不幸ニ相成小半力與ニ寒心ノ次第ニ付一同協議ノ上断然是迄ノ賄方全  
部相廢シ本年度ヨリ当分左ノ通り相改メ小事

### 賄方

一 そば 老人前志杖ツ、

但飯台まで

薬味 蕃椒、大根おろし、きざみ葱

メ 木皿使用

外菜漬

汁 かつ節

茶 例年之通リ

(此向ニ山盜伐ニツイテノ規程条項アルモ略ス)

明治廿九年十二月

右之通確定一同違存無之也

堀米四郎兵衛○

小野席之助○

守野三吉○

小野朋太郎○

堀米直藏○

堀米利助○

守野常藏○

堀米久太郎○

堀米清八○

外 八十八名略ス



# 昭和五年契約会合ニテ協定

## 賄方改免之事

昭和五年十一月廿三日  
小野寛方契約  
会席ニテ

一 本年ハ世界的不景氣之影響ト共ニ一般農産物殊ニ繭及米價之下落ニ因リ特ニ農村之不況を来シ徹底的緊縮を強調して生活之改善を絶叫するの要切なるものあり當契約は又例年之通り會合費を支出せんか 契約の基金を消耗すべき景況にあるを憂慮せらるる金谷庵ハ當契約代表者並各組重立者之集會を求め當昭和五年度より賄方ヲ閑シ左之通り実行する事に協定し當番を一巡するに決議仕リ候也 但伊勢講之方ハ従前ノ通りトす

## 賄方

赤飯 一人前参合トシ盛渡し之事

但標白米売俵買入トす

平 豆腐汁 盛渡し之事

菜漬、大根おろし

以上 茶ハ例年之通り

## 参考

### 繭價

春蚕 参拾七円前後  
夏蚕 式拾四円前後  
秋蚕 式拾四円前後

### 米價

金六円前後 但當十一月中

覚書

下澤畑中宿用水路新設ニ関スル件

昭和七年五月堀米四郎兵衛氏所有ニ同氏私設ノ灌溉堰ヨリ分岐シテ下澤畑中宿十五人用水路ヲ新設致シ候処今般灌溉者ト用水使用者トノ間ニ通水上ニ関シ左ノ通り協定致シ候也

- 一、従来ノ田面灌溉ノ水利ヲ専セザルコト
- 二、渴水ノ際ハ相互協議ノ上通水スルコト
- 三、將束通水路ノ修繕費ハ用水使用者ニ於テ負擔スルモノトス

昭和七年十一月二十三日

中宿用水路使用者氏名

阿	宇	宇	小	小	小	齋	堀	堀	齊
部	野	野	野	野	野	藤	米	米	藤
豊	正	仁	金	清	松	吉	権	権	三
入	太	左	吉	治	治	兵	次	入	藏
	郎	工		郎		衛	郎		
		門							

昭和八年献之改

堀米町組合席

蕎麦

秋味

なんばん大根おろし

葱

菜漬

汁 かつ節

茶

ノ

宇	宇	宇	小	宇
野	野	野	野	野
國	作	吉	善	富
弥	藏	太	郎	吉
				藏

以上十五名